

# ひろまちだより

Hiromachi Ryokuchi Park in City of Kamakura

## contents

|    |             |
|----|-------------|
| 特集 | ヘイケボタル      |
| 連載 | 樹木区日誌       |
| 催事 | 夏のイベント etc  |
| ほか | 新型コロナウイルス対応 |

## ぼちぼち光ります



広町緑地ではあまり見られないニホンアマガエル(左上)  
ハート形の輪っかをつくるように交尾をするアジイトトンボ  
(右上)セリ科の葉を食べてぐんぐん育つキアゲハの幼虫(左  
下)御所谷の山裾にいたサワガニ(右下)



田んぼ近くの茂みで光るヘイケボタル

ひろまちだより 2020年6月号

発行 鎌倉広町パートナーズ

鎌倉広町緑地管理事務所  
鎌倉市津 1133 TEL: 0467-32-5112  
<http://www.kamakurahiromachi.com/>



デザイン・編集 向田智也



竹ヶ谷付近の水辺で光るヘイケボタル



## 湿度が高く、もやもやした夜を彩るヘイケボタル

*Fireflies fly well on humid nights*

流水域を好むゲンジボタルにくらべ、ヘイケボタルは流れのゆるやかな水路や田んぼ、池などの止水域でよく見られます。その年によって違いはありますが、広町緑地では5月下旬頃からゲンジボタルが出現し、6月中旬頃になるとヘイケボタルが多く見られるようになります。

### 貝類を食べて育ち、土手でさなぎになる



ゲンジボタルの幼虫は主にカワニナを食べて成長しますが、ヘイケボタルの幼虫はモノアラガイやカワニナ、タンニンといった、いろいろな巻貝などを食べて育ちます。田んぼの畦などで土まゆをつくってさなぎになるため、土の斜面があることがとても大切です。



ホタルの名所となっている竹ヶ谷木道

### 胸の模様をくらべてみると

ヘイケボタルはゲンジボタルよりひとまわり小さく、胸の模様が十字ではなく帯状になります。



ゲンジボタル ヘイケボタル

## ウディぴろしの樹木区日誌



Vol.5  
ヤマグワ  
(クワ科)

御所谷入口から御所川沿いを歩くと、幹に縦のスジが入った4~5mの高さの木をいくつか見かけます。樹木の名前をかなり覚えるようになって、この木に出会うと何の木だろうと首をかしげるほど特徴が少ない木。かつて養蚕のためにマグワとともに重要な飼料として栽培されたヤマグワです。

葉は切れ込みが5つもあるものから、楕円形に近いものまで多様な形をしています。6月~7月に赤から黒へ熟す実は甘くて柔らかいかつての子どものおやつ。この実を見ると懐かしく思いをめぐらす方もいるのではないのでしょうか。



色づいてきた果実



切れ込みがない葉



切れ込みが多い葉

## イベント情報

6月まで中止していた広町緑地のイベントを7月から実施する予定で準備を進めていますが、状況によっては再度中止になることがありますので、直近の情報をホームページ等でご確認ください。ガイド里山さんぽ(参加費200円)の予定は、「夜の昆虫観察会(申込制)」8月1日(土)、「夏のチョウ観察会」8月15日(土)、「秋の植物観察会」9月26日(土)。講座(先着順申込、参加費は問い合わせ)は「藍染教室」8月22日(土)を予定しています。



藍染教室のようす

## 管理事務所よりお知らせ

現在、園内では新型コロナウイルス感染拡大防止対策をお願いしています。今後の状況により変わることがありますので緑地の各入口及び事務所内掲示板でご確認ください。